

一般会計に一億九千万円余り追加

結ステーションの多目的広場整備など

第三百五十八回大野市議会定例会が平成二十年十一月一日から十七日にかけて開かれました。九月定例会から継続審査になつて、「平成十九年度大野市歳入歳出決算認定について」など決算認定議案一件を認定、「一般会計補正予算案」など二十二議案を可決しました。

補正予算の概要

一般会計では、歳入・歳出それぞれ一億九千七百七十七万円を追加。補正後の予算総額は百六十二億七千六百七十万円の増額となりました。

補正の主な内容は▼和泉地区の地上波デジタル受信設備を整備する地域情報通信基盤整備事業に四千八百二十四万八千円▼障害者自立支援特別対策事業に千十三万一千円▼結ステーションの多目的広場整備に伴う経費に二千七百万円▼民間除雪機借り上げなどにかかる除雪経費に八千三百十五万円などとなっています。

特別会計では、歳入・歳出に一億六百三十八万八千円を追加。一般会計と特別会計、企業会計を合わせた予算総額

12月補正 一般会計の主な事業

◆総務費

- ・地域情報通信基盤整備事業 4824万8000円
- ・国県補助・負担金返還金 1400万円

◆民生費

- ・障害者自立支援特別対策事業 1013万1000円

◆農林水産業費

- ・六呂師堆肥センター管理運営経費 945万円

◆商工費

- ・廊下式物品販売所・せせらぎ水路整備事業 560万円
- ・多目的広場整備事業 2700万円

◆土木費

- ・除雪経費 8135万円

◆教育費

- ・小・中学校管理運営経費 1207万円

臨時市議会

第359回臨時市議会が1月6日に開かれました。社会福祉法人光明寺福祉会が、小規模多機能型居宅介護事業の申請を認めなかつた市の処分の取り消しを求めた行政訴訟で、敗訴した市が控訴する「控訴の提起について」を審議。原案どおり可決しました。

誘客拡大による

まちなかの賑わい創出



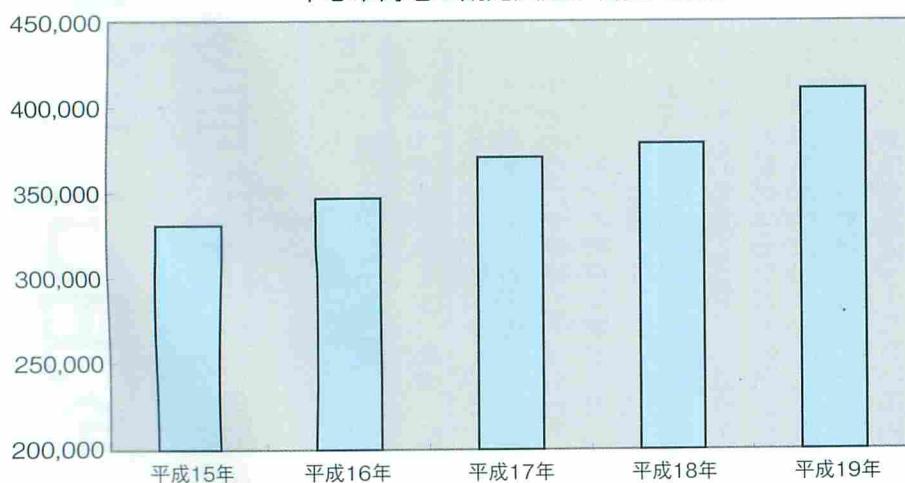
まちなか遠足に訪れた児童たち 人が集うとまちに活気がでます

まちの賑わいや活気をつくりだすためには、市民が集うことはもちろん、多くの観光客などが来訪し交流人口が拡大することが重要です。市では、市の観光協会や県の観光連盟などと連携し、東京や大阪、名古屋で開催される観光商談会への参加、旅行会社などへの訪問、出向宣伝など観光セールス事業に積極的に取り組んでいます。また小・中学校、

や活気をつくりだすためには、市民が集うことはもちろん、多くの観光客などが来訪し交流人口が拡大することが重要です。

単位：人

中心市街地の観光入込み客数の推移



高校の遠足を誘致する「まちなか遠足誘致促進事業」や高齢者や団塊の世代を対象にした「シルバーエイジまちなか散策誘致事業」を展開しています。こうした誘客活動により、中心市街地への観光入込み客数は平成十五年から毎年増加

を続け、平成十九年には四十万人を突破しました。そして平成二十年には、まちなか遠足に四十校・約三千四百人の児童や生徒、約六百台の観光バスが訪れています。

平成十八年・約三百八十台、平成十九年・約五百二十台、中心市街地活性化基本計画では、まちなかの観光入込み客数を平成二十四年には五十万人とする目標を掲げています。この目標に向けて今後、「食」や「体験」「宿泊」にさらに磨きをかけて「越前おおの」の魅力が体感できる滞在型交流観光の推進により、さらなる誘客拡大に取り組んでいきます。



デパートでの出向宣伝(10月4日大阪市)



ぐるーん登場

奥越紙芝居研究会



郷土の民話や文化を紙芝居に



奥越紙芝居研究会では、豊かな自然の中で生まれた奥越の民話や伝説を紙芝居で残し、市民に伝えようとしています。月から作業を進めていました。会員四人で約半年をかけ、第一作『麻那姫物語』を切り絵や写真を用いて作成。十一月から市内で発表会を開いています。

この研究会は、市民が講師となる大野公民館の講座「これび学社」の一つで、宮原健太郎さんが講師となって開講しました。宮原さんは十年ほど前に兵庫県から農業をするために本市へ移住し、本紙「広報おおの」の市民リポーターとしても活躍しました。平成十九年十一月号では切り絵作家の三宅高さんを取材し、三宅さんの郷土に対するあふれる心情に感銘を受けたことがあります。そこで、第一作は三宅さんの過去の作品から切り絵十枚を素材に、聞き

取りや実写を加え編集しました。紙芝居はスクリーンに投影しきりに動画として上映できるようDVDに再編集。せりふや効果音にも気を配り、臨場感が出るように心掛けたということです。

宮原さんは「発表会で作品を見た人から手紙が来るほど反響です。仲間を増やし、史や文化などいろいろな内容を紙芝居で伝えていきたいと思っています。次作は『桃木峠の大杉』を題材に取り組んでおり、多くの人に見てもらいたいですね。イトヨや大野の山など取り上げたいことはいっぱいです。」と話してくれました。



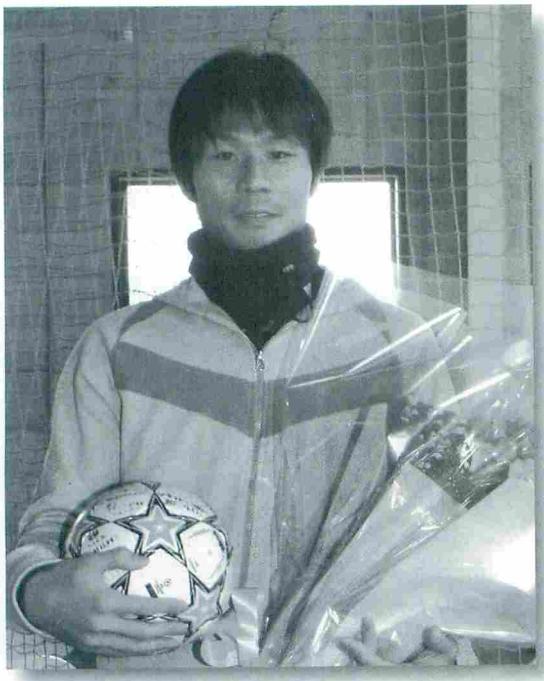
取りや実写を加え編集しました。紙芝居はスクリーンに投影しきりに動画として上映できるようDVDに再編集。せりふや効果音にも気を配り、臨場感が出るように心掛けたということです。

宮原さんは「発表会で作品を見た人から手紙が来るほど

あなたも紙面に参加しませんか。希望する方は
情報広報課まで ☎ 0779・66・1111

【広告欄】

広告スペース 3 枠



長谷川 満さん（29歳）

長谷川さんは下庄小・陽明中・大野高校出身で、本市出身者で初めてプロのサッカー選手として契約することになりました。

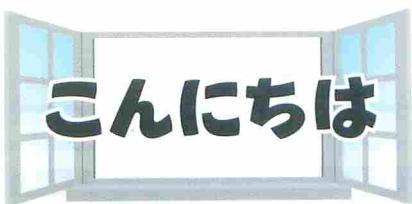
長谷川選手は富山県を本拠地とする「カターレ富山」に所属しています。来季に「カターレ富山」はJFL（アマチュア最上位のリーグ）からJ2（プロ2部リーグ）への昇格が決まりました。

長谷川選手は最前線に位置するフォワードとしてチーム内最多の得点をするなど大活躍し、チームのJ2昇格に大きく貢献しました。

長谷川選手にサッカーに対する思いを聞きました。

——J2昇格おめでとうございます。

ありがとうございます。運がよかつたと思います。東京の大学を卒業後にカターレ富山の前身のチームに所属しましたが、入団したシーズンで地域リーグから一つ上のJFLに昇格しました。そこからJリーグを目指すこ



となり、このたび願いがかないました。

——プロはいつごろから意識しましたか。

サッカーは小学3年から始めたのですが、プロになるとの思いは最近までありませんでした。しかし、試合に出て、点を取りたいという思いは強く、華麗さはなくてもいいけど、上手な選手に負けたくないと思っていました。

——目指す選手像はありますか。

プロの選手として勝負の結果にこだわらなくてはいけないと思います。これまで緩慢なプレーや良くない結果にはサポーターからのブーリングを受けていましたが、さらに精神的に強くなり、練習を積むことで、結果を出していく必要がありますね。ジュビロ磐田に所属する中山雅史選手のように、行動で周囲がついてくるタイプになりたいと思っています。

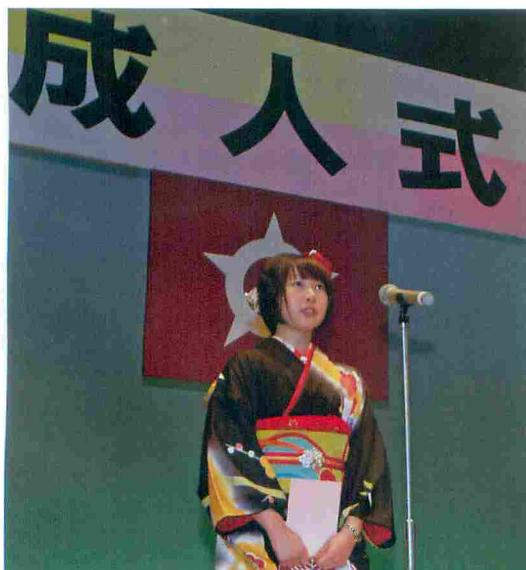
——ふるさと大野について一言お願いします。

大野の恩師や友だちのおかげで今の私があります。ふるさと大野はなければならない心の支えです。北陸三県で初のJリーグ加盟チームとなるので、大野の方が応援してくれれば心強いですね。



【広告欄】

広告スペース 3 枠



平成生まれも新成人に

1月11日、文化会館で成人式が開かれました。本市の新成人は昭和63年4月2日から平成元年4月1日までに生まれた478人で、男232人女246人（1月5日現在）です。初めて平成生まれの人が参加しました。

式典の後に、アトラクションや記念撮影が行われました。

厳しい年さらに奮起せよ

1月5日、市役所内で市職員に対して年始の市長あいさつがありました。岡田市長は「昨年は、中心市街地活性化基本計画の認定や農林樂舎の立ち上げなどに向けた取り組みなどが進んだ。中部縦貫道や国道158号バイパスの事業化にさらに取り組む必要がある。今年は例年よりも厳しい年になるが、一丸となって課題に取り組んでほしい」と全職員の奮起を促しました。



心のこもった音色響き渡る

奥越吹奏楽アンサンブルコンテストが12月21日と28日に文化会館で開かれました。

小学校の部には42組、中学・高校の部には51組が参加。打楽器や金管などを少人数で演奏し、日ごろの練習の成果を披露しました。心のこもった演奏に、会場から温かい拍手が送られていました。

話題のひろば

話題のひろば

自作水車で体感 水の有効利用

水の大切さを学んできた森目小学校では12月2日に地元住民などの協力を得て、保護者らといっしょに水車2基を製作しました。同月10日には同校の児童15人が発電機を備えた水車を近くの用水路に設置。発光ダイオードの点灯に成功すると、「うまくいってよかったです。水車でも発電できるなんてびっくり」と拍手して喜んでいました。



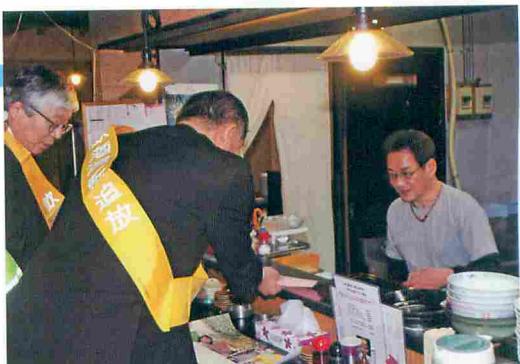
飲酒運転追放に協力を

12月19日、有終会館で飲酒運転追放宣言大会が開かれ、終了後に岡田市長や砂子市議会議長らが市内の飲食店約80店舗を巡回しました。啓発ちらしやミニのぼり旗を配布し、飲酒運転の追放に協力を求めました。



水ようかん作り職人の技伝授

「水ようかん作り講座」が富田公民館で12月9日に開催されました。菓子職人の山内浩一さんが講師となり、20人の参加者に惜しげもなく“職人の技”を伝授。家庭で作るときのポイントなどを教わった参加者は、水ようかんでのきあがりに満足のようでした。



英語かるたで文化交流

上庄小学校5・6年生75人が12月11日、校内で英語集会を行いました。これは同校が小学校英語大好きモデル事業拠点校として開催したもので、参加した児童はメーガンさんなど3人の外国人講師とかるた取りなどを通じて、互いの文化に触れ合い、交流を深めました。自作した英語のかかるたを取った児童は高々とアピールしていました。

笑顔！で「いただきます」㉓

サトイモの春巻き



材料 (4人分)

- ・サトイモ 180g(小8個)
- ・白みそ 大さじ2
- ・青のり 大さじ1
- ・春巻きの皮 2枚
- ・小麦粉 少々
- ・サラダ油 少々

新しい郷土料理として、地元で採れたサトイモを使った「サトイモの春巻き」を紹介します。

伝えたい郷土料理

達人のワンポイントアドバイス

盛り付ける前に油をよく切ると、皮がサクッとして、中のサトイモがモチモチとします。この歯ごたえは“酒のつまみ”にぴったりですよ。

(食生活改善推進連絡協議会
山村邦代さん)



作ってみよう

- ①サトイモを洗い、水が付いたままラップで包む。電子レンジで1分30秒加熱し、冷ます。
- ②春巻きの皮をサトイモの幅より少し広めに、巻きやすいように切っておく。
- ③サトイモの皮をむき、白みそ、青のりの順でまぶす。春巻きの皮で巻き、巻き終わりを水で溶いた小麦粉ではがれないよう留める。
- ④サラダ油を注ぎ、中火で揚げ焼きする。

市民のうごき

平成21年1月1日現在

発行 福井県大野市

世帯数	12,235世帯（-2世帯）
人口	38,262人（-61人）
〈男〉	18,238人（-26人）
〈女〉	20,024人（-35人）

◆12月中の内訳

転入 28人 出生 22人
転出 75人 死亡 36人

今月号の特集では四つの予防方法をお伝えしています。編集の締切りが迫る慌ただしさがありますが、取材から戻ったときは、うがいや手洗いを忘れないう心掛けていきたいと思っています。（松森）



注意報が発令され、過去十年では最も早いとのことです。

各医療機関当たりの患者数

が一週間で十人を超えると注意

報が発令され、過去十年では最

も早いとのことです。

編集後記

二〇一年の地デジ放送に切り替わるまで

と、大事に使ってきた

わがビデオもどうどう



寿命がきたようだ▼そ

れは、毎日放映される韓国の歴史ドラマに魅せられて「ペイバー（陛下）」とい

う韓国語が思わず口から出てしまうほ

ど、はまってしまったのである。歴史が

作られる上では、どこの国も同様で天

下を取るために、骨肉の争い、裏切り

者、暗殺そしてゆるがない忠義心、そん

なドラマを見逃すまいとわがビデオはフ

ル活動していたのである▼地デジ放送に

向かって、家電売り場には各メーカーのテ

レビやビデオがズラリと並び、それぞれ

液晶！プラズマ！またはDVD+ブルー

レイ！と多種多様である。何本も積み重

なったVHSのテープを整理しながら、

VHS・DVD・ブルーレイと変わりゆ

く早さに、「わが家ではまだVHSのビ

デオだよ」と叫んでしまった▼家電製品

に限らないが、さまざまなもの日々進歩

には自覚しいものがある。中でも携帯電

話の普及、そしてあの薄い、小さなボ

ディーでカメラ、インターネット、テレ

ビ機能までと、アナログ時代のわれわれ

には驚きの毎日である▼二十年前、初め

てハンディータイプの携帯電話を手にし

て、画期的だと思ったあのころを思い出

す。（小林）

※小林氏は元市報編集委員

2009.2 広報おのの